ミーティングリポート

10 月に開催しましたスポーツネットミーティングでは、U-23 全日本女子バレーボール世界選手権と世界陸上の帯同報告を行いました。

＜全日本女子バレーボール世界選手権帯同について＞

U-23 女子バレーボール世界選手権（@スロベニア）では監督、コーチ、トレーナー2 名（男性１名、女性１名）、アナリスト、マネージャー、団長、ドクターというスタッフで選手を含めて21名で臨みました。世界選手権までにはアジア予選があり、選考期間（6 日間）でメンバーを決定しています。選考期間中から怪我のある選手は、所属チームに確認を取り状態を把握するようにしています。テーピングの巻き方やチームで行っているトレーニング方法を確認し、その方法に合わせて行うこともありました。

トレーニングに関しては、以前にもこのスポーツネットミーティングでお話をしていたように、ウェイトトレーニング、アジリティ、ジャンプ、体幹トレーニング、ラントレーニングを実施していました。ウェイトトレーニングでは、まずは自重を支えるトレーニングを行い、次に負荷をかけて行うトレーニングという流れで実施しています。海外遠征時は現地でトレーニングルームに機材が整っているということではない場合もあり、ペットボトルに水を入れて負荷として使用したり、廊下やトレーナールームでトレーニングを行ったりどのような場所でもトレーニングを行っていけるように心がけました。

＜ロンドン世界陸上帯同について＞

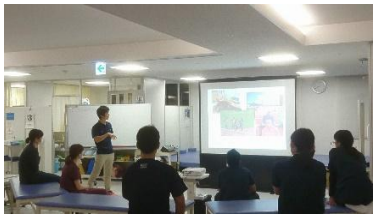
以前、このスポーツネットミーティングでテカール（高周波）を使ったトリートメント方法を紹介しましたが、今回はテカールを使ったサポートの報告をしました。テカールトリートメントは、高周波を体内に通し、細胞の代謝を促進させ、毛細血管の循環を増加させることで、身体を活性化するというのが基本的な効果です。急性炎症（腫れなど）の改善、肉離れなどの筋肉損傷の早期回復にも良く使われ、急性・慢性の痛みの改善など様々な用途に使われます。

・これまでの経過：

3 年前にスイスで開催されたテカールのセミナーに参加して、テカールに興味を持ち、2 年前の前回の世界陸上北京大会でトップクラスの選手をトリートメントしているところを見学させてもらい、この舞台で選手をサポートしたいという思いを強く持ちました。そこで、次の世界陸上であるロンドン（2017 年）大会での帯同を最初の目標とし、イタリアやエチオピアにてインターンシップを行い、テカールトリートメントを学んできました。

・今回のサポート：

今年度の目標は世界陸上ロンドン大会に WinTecare 社のセラピストとして帯同することでした。今年 4 月に開催されたロンドンマラソンで、日本の実業団に所属しているケニアの選手がレース前にテカールを使用し、その際の感触がすごく良かったので日本でもぜひ使用したいということで、今回その選手を日本でサポートをすることになりました。マラソン後のダメージが大きくありましたが、6 月末にケニアで世界陸上のトライアルに出場する予定とのことで、一緒にケニアに行き、世界陸上出場権獲得に立ち会わせてもらうことが出来ました。その際、その選手も含めて約 10 日間で 15 人、45 回以上のトリートメント機会を得ることが出来、この沢山のトリートメント機会がテクニックを向上するうえでとても勉強になりました。



その後、運よく WinTecare のセラピストとして世界陸上ロンドン大会に帯同することが決まり、現地では NIKE ホスピタリティー内や、選手が滞在しているホテル内にトリートメントルームを設けて、多数のメダリストのトリートメントを経験することが出来ました。

・今後の展望

WinTecare のセラピストとして、陸上の世界大会やダイヤモンドリーグ、メジャーマラソン（東京やベルリン）での活動を継続すること、日本でテカールセラピーを実施し、さらにテカールセラピーが出来るセラピストを増やしたという思いがあります。

参加者：指導者１名　理学療法士７名　　合計８名

＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜

次 回 の 開 催 予 定

次回の開催予定は、下記の通りです。個人的に質問のある方は少し早めにいらして下さい。この機会に是非ご参加下さい。

平成29年12月5日 「懇親会」